# 養老鉄道に支援!!

どや顔の関谷院長(左)

**事業形態変更に伴い**

これまで養老鉄道(株)において発生する年間9～10億円の赤字については、近畿日本鉄道(株)と沿線3市4町が毎年補填し維持、存続を図ってきたが、この度養老線管理機構が設立され、新たな事業形態で存続させていくこととなった。しかし同機構自体には営業収益が無く、沿線3市4町の財政負担により支えることとなる。

**100万円を海津市に**

現在当院に通院する患者のうち一日平均約12人が養老線を利用しており、通院を続けるための貴重な公共交通となっている。

これを踏まえ緑峰会理事会では100万円の寄付をすることを決定。2月12日(火)には関谷院長が海津市役所を訪れ、目録を松永清彦海津市長(写真右)に手渡した。

関谷院長は「養老線がなくなったら困る患者さんが一杯いる。皆が協力し存続させることが重要。私も飲み会の時に使ってますし」と話した。


紛らわしいけど「スマープ」ですから

◆勉強会①

1月28日(月)、杉浦佳奈臨床心理士より、アルコール使用障害の治療プログラム(SMARPP)に関する勉強会が開催され、使用する本や進め方など実施法の説明や事例を交えた解説に多数の職員が参加し理解を深めていた。

デイケアプログラム中に撮影した写真
この風情は養老線ならでは

社会福祉法人 楽山・杜の会
草もち 2個入¥270 5個入¥650

好評販売中!!

発行所
社会医療法人緑峰会
養　南　病　院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎〈0584〉57-2511
Fax〈0584〉57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

## みかルんの病院ミシュランガイド

**来月からいよいよ院内全てが禁煙になるような。愛煙家たちの憩いの場である喫煙室の新しい用途は?ストレスケアセンターの有馬課長。**

「患者様のお話がしっかり傾聴できるよう憩いのカウンセリング室かな」

**南病棟は?佐藤課長。**

「談話室を広く利用できるよう喫煙スペース自体を撤去し、憩いの場を確保します」

**北病棟は?大橋課長。**

「余暇が楽しめるような憩いの空間に変更予定です」

## 食へのこだわり

**「人気のメニュー」**

私、栄養士の鈴木結衣はこの病院に来て早一年。人気がある栄養士になれるといいなぁ。

**丸山「鈴木さん、今月のちそう緑峰は年度末の締めくくり"人気メニュー"でいきます」**

鈴木「人気…っ!」

**丸山「九州うまかもんからはチキン南蛮、名古屋飯からはシロノワール、屋台村からは焼そば。でも一番人気はなぜか白米なんやて」**

鈴木「白米…ですか?」

お米は全て県内産ハツシモなんです!!(ドヤァ!!)

**丸山「そう。坦々麺が出ようとメロンゼリーやボルシチが出ようと人気者は白米なんやよ」**

鈴木「白米みたいにどんなときにも必要とされる栄養士になれるよう頑張ります!」

◆勉強会②

2月4日(月)、西病棟の有馬新路課長より医療ガスに関する研修会が開催され、取扱いに関する注意事項や整備状況等の説明に、関係職員は真剣に耳を傾けていた。

医療ガスの伝道師 有馬課長

**デイケアは?神崎係長。**

「憩いの物置にしてみようかと…」

**…それぞれの憩いの用途にリユースのような。今回の期待度 星2つ★★**

憩いの荷物のような…

◆勉強会③

2月18日(月)、外来課の寺町里美係長より看護力ウンセリングについて説明があり、制度導入の背景から年間実績の報告、事例の紹介等がなされた。

「包み込む母性が大事よ。私のように」

◆家族教室

2月17日(日)、統合失調症の家族教室が開催された。講師の和田祐己係長は「デイケアに通う事で生活リズムを整え、人と繋がり、社会と繋がり、自信回復することで未来に繋がってもらいたい」と語った。

## ◆3月の家族教室

第一部「うつ病にいいね!のライフスタイル」
～食・睡眠・リズム～
講師:丸山 一代 課長
(管理栄養士)
小山 登希江 係長
(看護師)

第二部懇談会
日時:3月17日(日)
14時～16時
場所:デイケアセンター
対象:気分障害
患者様とご家族

## ルンルンみかルん

## デイケア 新たな挑戦

冬場デイケアでは昔ながらの暖炉が毎日フル稼働している。これを利用しない手はないと、ナイトケアで暖炉を使った焼きいもを敢行。プログラム数日前、担当の横井孝明PSWは「初めての試みですからね、本当にできるか確認しないといけませんね」と暖炉に次々とさつまいもを投げ込む。しばらくして「焼けてるか確認しないといけませんね」と両手に熱々の焼いもを持ち、嬉しそうに頬張っていた。

「毎月やっても良いですね、これは」

## デイケア さきどりバレンタイン

バレンタインに先駆けて手作りチョコを楽しむ「さきどりバレンタイン」が2月9日(土)に行われ、参加者は協力して生チョコモンブランを作って味わった。担当の門脇真司OTにバレンタインの思い出を尋ねると「うちはバレンタインの日はご飯が豪華になるんですよ。その代わりチョコは食べません」と文化的な流行に乗らない独自路線を貫いているようであった。

「思い切りちぎるとストレス発散にもなります!」

## デイケア オリンピックイヤー

2019年もまだまだ始まったばかりだが、早くも2020年のカレンダー作りがスタート。今回もデイケアメンバーと協力して作品制作を進めていく予定である。カレンダー担当の清光遥OTは、「今はカレンダーの表紙になるちぎり絵を作っています。完成したらどんな風になるか楽しみにしていてください!」と意気込む。2020年は東京オリンピックが開催される年。特別な年の特別なカレンダーを期待しよう。

門脇家のバレンタインデーの食卓

## 雑笑門

(前編)

今月、来月2ヶ月にわたり、黒田クリニック院長の黒田弘彦先生(73)を紹介します。

**Q 永らく非常勤医師として病院を支えて下さいましたが今回クリニック専属になられるとか。**

A もう20年位かな…先代の関谷重道先生に誘われて・・やはり少し寂しいですよ。

**Q もう少しこのコーナーっぽくいきます。ある情報筋から、先生は多趣味だと聞いていますが?**

A 油絵は高校の仲間で集まってやってました。ここに年賀はがきを送ったこともありましたが、誰も私が描いたものだと気づきませんでしたね。(苦笑)海外へも油絵仲間と行って美術館めぐりをしてます。

**Q クリニックにも飾ってあるそうなので今度見に行きます!**

黒田美術館(クリニック)所蔵

「無題」


「トスカーナの山」

## すき☆コレ

作業療法士の永見啓太さんはライフル射撃が好き☆

構えた時の緊張感、撃った時に肩にかかる衝撃、的を射抜けた時の達成感に心を振るわせる。ニヒルな笑みを浮かべて彼は銃を構える。

「ふっ、この銃(射的用おもちゃ)で…」

## カズオの 訪問絵日記

僕の名前はカズオ。今日はケア会議に出席した。利用者さんを取り巻く様々な支援者に本人を交えた話し合いの場だ。そんな中で僕たち訪問看護師は、利用者さんの代弁者となる事もあるから責任重大だ。ちなみに同僚の林真由美さんがあまりに謙虚な姿勢のため、会議の参加者から新人と間違われていた。こんな新人いるわけないのに…。

## ◆学生さんの声

森比奈子さん(サンビレッジ国際医療福祉専門学校)

学生の森さん(左)と教員の佐々木さん(右)

「患者さんが名前を呼んで話しかけてくださるのがとても嬉しいです」

**★比奈ちゃん頑張ってね。**

「皆さんお久しぶり。私のこと忘れたなんて言わせないわよ。今は教員してるけど熱い気持ちは変わらないからね」

**★頼んでもいないのにコメントを寄せてくれた佐々木ゆかり先生でした。**

## ◆理容と美容の出前はいかが?

外出が困難な患者さんのために、病院まで出向いてくれるようになって15年あまり。理容「トマト」と美容室「たると」のスタッフは、とても気さくな人達。散髪中の会話を楽しみ、笑顔になる患者さんも多い。髪と共に気持ちもサッパリ。気晴らしもできる場となっているようだ。

チャキチャキなトマト3人娘

たると 寺倉輝美さん

私達も患者様から元気をいただいております❤

皆さんとのお話が楽しくて、もう趣味みたいなものです。